

半島地域における活発な地域づくり活動の事例

- ・ 半島地域は、三方を海に囲まれ、平地に乏しい地形であることなどから、産業基盤や生活環境の整備の面で不利な条件下にある上、人口減少、高齢化の進行などにより、地域経済・社会において様々な課題が存在。
- ・ 毎年、半島地域において、地域振興のための事業活動等を行う団体等に対して支援を実施。これにより、半島地域において、地域の資源や創意工夫を活かした自立的発展を促進。

《地域一体でつくる農産物加工で新たな産業創出プロジェクト》

鉄道駅前の遊休スペースを活用して、高齢者や旅行者等向けにコミュニティ・カフェを運営するメンバーが、地域ブランド化を目指す地鶏（青森シャモロック）と生産者の理解・協力のもと作られた完熟トマトを使って新メニューを開発し、地域住民の試食会を経て、みんなの思いが詰まった「シャモとまシチュー」が出来上がりました。（津軽地域、企業組合でるそれ）



シャモとまシチュー

《販わいの「市場」創出による豊かな半島暮らしの創生》

「平成20年度半島地域づくり会議in幡多」と同時開催したファーマーズ・マーケットの販わいにより、幡多地域で売り手と買い手が対面でやり取りをするマーケットの需要があることがわかりました。このまちづくりマーケット「海辺の日曜日」を継続開催することで、地域に販わいを生み、地域経済を支援しています。

（幡多地域、NPO法人高知県西部NPO支援ネットワーク）



《「ぷらっと下北」のワ（輪）を上げようプロジェクト》

「平成21年度半島地域づくり会議in下北」をきっかけに、地域づくり団体、NPO、行政など様々な主体から成るプラットフォーム「ぷらっと下北」が結成されました。22年度、「みんなでシモキタ鑑定談」を実施し、地域資源を再評価・共有。新幹線新青森駅開業に合わせ、「ほっかむり行商隊」を開催。食を中心とした「シモキタらしさ」を観光客・住民に発信しました。

（下北地域、ぷらっと下北）



ほっかむり行商隊

《観光ボランティアガイド組織の自主運営》

観光ボランティアガイドの組織を設立し、ガイドのスキルアップ、ガイド人材間の交流、市民参加による観光振興、まちづくりの発展のために、メンバーの創意工夫によるモニターツアーを企画開発・運営しました。

（江能倉橋島地域、広島県江田島市、江田島市観光協会）



えたじま観光ボランティアの会

《漁村を訪う災害時の備え、情報共有プロジェクト》

震災や台風などの災害によって船や網が壊れた時、同時被災の可能性が低い京都府網野町漁協と高知県四万十市内水漁港が、災害時に必要な緊急物資や復興支援物資、運搬方法、運搬先等を検証し、防災や環境保全に関する詳細をまとめた防災カルテを作成しました。

（丹後地域、幡多地域、（株）エンジョイフィッシャーメン）



京丹後市漁港視察

《多様な世代の協働による松原の保全活動》

「虹の松原」の再生に向け、お年寄りや高校生など多様な世代が協働して、松原内のパワースポット巡りや地元の名菓づくりを視察しながら松葉がきを体験するモデル体験ツアーを企画し、松原の保全活動に取り組みました。

（東松浦地域、NPO法人唐津環境防災推進機構KANNE）



体験ツアーでの松葉がき